

# CAMPUS 八戸学院

vol.37

八戸学院 NEWS <CLOSE UP!>

看護学科 四大化申請  
短大幼児保育学科棟建設

特集

「見」守り人 Part2

学びの時間

八戸学院大学・八戸学院短期大学  
地域連携研究センター



# 医療・健康・福祉・食の学問領域充実を！



3月31日(火)記者会見にて

学校法人光星学院は、3月31日(火)に記者会見を開き、「八戸学院大学看護学科の設置申請」と「八戸学院短期大学幼児保育学科の新校舎の建設」を発表しました。

21世紀を「命の世紀」と位置づけて医療、健康、福祉、食の学問領域における充実を目指します。

**看護学科4大化**  
看護学科は、県南初の4年制看護学科で2016年4月の開設予定。高度な知識や技術を有した看護師となる基礎を培うことを目的とします。入学定員は80名で、看護師国家試験の受験資格に加え、保健師の国家試験の受験資格が得られます。

**幼児保育学科棟建設**  
八戸学院短期大学幼児保育学科新校舎は、5月19日に着工し、12月完成予定です。新校舎には保育実習室や講義室等が建設され、さらなる幼児教育の環境が整備されます。



2階建て床面積は約710㎡で、保育実習室や50人収容の講義室を備えた、教育理念を具現するステンドグラス仕様のホールが完成する予定です。



## CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 八戸学院 NEWS<CLOSE UP!>
- 4 特集  
「見」守り人 Part2
- 7 八戸学院 NEWS / イベント情報
- 16 学びの時間  
八戸学院大学・八戸学院短期大学 地域連携研究センター
- 17 同窓生の広場
- 18 職員ファイル
- 19 理事長散策
- 20 HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT  
IXΘΥΣ (イクトウス)



### 「愛とまごころの指」サリバン女史の手紙

アン・マンスフィールド・サリバン(著)  
ジョン・A・メーシ(編) / 万世 滋(翻訳)

(現代教養文庫出版)

学生の頃、『奇跡の人』という映画を見ました。ヘレン・ケラーという三重苦の女性の成長の物語、愛と感動を呼ぶ教育の記録で、いろいろな人に多くの影響を与えている作品です。感動した私はその後、『愛とまごころの指』(現代教養文庫)という本に出会いました。この本は「サリバン先生によるヘレン・ケラーへの教育の記録」で、奇跡を生んだ教育の過程をたどることができます。「サリバン先生がいたからヘレンがいる」と言える「教育の真実」に触れてほしいと思います。私の教員志望を後押ししてくれた本です。

ところで、「ウィキペディア」でサリバン先生を検索して驚きましたよ。『奇跡の人』は原題が『The Miracle Worker』で、ヘレンでなくサリバン先生のことを指していること。サリバン先生自身が視覚・聴覚障がいを抱えた人であったこと(ヘレンより多少軽かったようですが)。幼少時代は鬱状態・拒食症で死の危機に瀕していたこと。知りませんでした！



島田 博美  
八戸学院野辺地西高等学校  
教諭(教務部長)

# CAMPUS 八戸学院

vol.37



表紙  
大好きなSLバスに乗って元気に登園です。

**建学の精神**  
「神を敬し、人を愛する」  
カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄附行為 第3条)



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL. 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL. 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学  
地域連携研究センター  
TEL. 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学  
図書館 TEL. 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校  
TEL. 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科  
TEL. 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校  
TEL. 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園  
TEL. 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園  
聖アンナ TEL. 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園  
第二しのめ TEL. 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

キャンパスを支える「見」守り人2回目は、スクールバスに関わる「見」守り人の登場です。



一日平均運転距離は60kmになります

運転前の点検は欠かせません

運転手さん行ってきます

下校スクールバス出発

整備には様々な工具を使用します

部品をばらして細かい所まで点検します

スクールバスは、現在、46台保有しており八戸地区、野辺地区併せて21路線、約800名の学生・生徒・園児が利用しています。以前は、スクールバス利用者も多く100台以上保有していた時期もありましたが、時代の流れと共に路線数が減少し保有台数も減っています。  
「スクールバスはホームルームの延長」という中村キヤ先生の言葉を受け継ぎ、乗降時の挨拶や服装の指導などを行っています。



川村 広志  
学校法人光星学院  
総務部 管財担当課長

【八戸業務班】

年度初めに利用者から乗車希望場所を聞きながら時刻表を作成しています。決定後でも相談があれば乗車場所の変更・追加などに応じ、利用者の利便性の向上に努めています。また、運行前にはバスの点検をこまめに行い、少しでも気になる箇所があれば整備工場に整備を依頼するよう心がけています。

八戸業務班 統括主任 石垣 隆三

【整備工場】

整備工場は、運輸局認証工場として専門分野のプロの整備により、スクールバスの車検整備・点検等を行っています。学生や生徒、園児と接する機会は少ないのですが、安全に送り届けられるよう取り組んでいます。

整備工場 工場長 市川 裕之

【野辺地業務班】

夏場もそうですが、特に冬場の急なブレーキはスリップの原因ともなるので、停車する少し前から減速を心がけ、ブレーキの回数を少なくするようにしています。

また、出発前にはバスの洗車や車内清掃を行い、生徒が気持ちよく利用できるよう心がけています。

野辺地業務班 統括主任 若狭 孝弘



《整備工場の皆さん》



《野辺地業務班の皆さん》



《八戸業務班の皆さん》

大学・短大



大学学長賞の  
下舘由香さん



恩師から学位記を  
渡され笑顔に



卒業生を前に  
「困難な場面でもくじけない心と  
明るさを忘れないで下さい」  
と祝辞を述べる法官理事長

附属

立派な姿に感激の  
一時でした



思い出いっぱいのお部屋で、  
最後のホームルーム

野西高



寂しそうな担任に続き、  
新たな一歩を踏み出す  
清々しい笑顔の卒業生たち

答辞を読み上げる  
生徒会長の菅原明日香さん  
目には光るものも



卒業・卒園  
おめでとう  
ございます！

園長先生から修了証書が渡され、  
ちょっとドキドキ…！



聖アンナ

大好きなお母さん、  
先生に見送られて笑顔♪



りりしい姿の年長組  
心も体も大きく成長しました



第二しのめ



お花のプレゼント  
「お母さんありがとう」  
これからもよろしく

専攻科



みんな笑顔で記念写真



答辞を読み上げる  
下野那緒さん

光星高

保護者の見守る中  
卒業生の入場です



附 属

お父さん、お母さんと  
一緒にハイポーズ！



職員一同、  
力を尽くして参ります



お父さんとお母さんが  
一緒だからうれしいな☆



聖アンナ



聖アンナの先生たちです。  
これからたくさん遊ぼうね♪



先生たちが  
園歌を紹介

第二しのみめ

幼稚園のマスコット  
ステラとチッチがお迎え  
一緒にハイポーズ！



田沢優さん、松橋奈々美さん  
による歓迎の言葉



短大生による合唱

大学・短大



安達美海さんによる  
入学生宣誓



野西高

緊張の面持ちの  
新入生達



新入生を前に  
「太陽に向かう樹木のように  
育っていただきたい」  
と式辞を述べる齋藤校長

チアリーディング部が  
入学をお祝いして  
演舞を披露



光星高

新入生 村上慎さん  
による宣誓



式辞を述べる  
橋場校長



祝  
入学・入園



## イベント情報

平成27年5月～8月

### 八戸学院大学・八戸学院短期大学

#### 地域連携研究センター

▼第2回みちのく英語応用サミット  
5/31(日) 9:00～16:30

第2回みちのく英語応用サミットの詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院大学・八戸学院短期大学  
地域連携研究センター TEL.0178-25-2789

### 八戸学院大学・八戸学院短期大学

#### ▼オープンキャンパス

7/25(土) 10:00～13:00

学部学科説明、体験授業、  
クラブ・サークル紹介、個別相談、  
在学生とのフリートークほか

9/26(土) 10:00～13:00

学部学科説明、体験授業、入試対策講座、  
個別相談、在学生とのフリートークほか



#### ▼保護者説明会

9/13(日) 14:00～16:00

保護者向け講演、学部学科説明、  
個別相談ほか

オープンキャンパス・保護者説明会の詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院大学・八戸学院短期大学  
キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

### 八戸学院短期大学

#### ▼第45回 八戸小唄流し踊り

7/17(金) 17:30～

会場：八戸市中心街



1年生204名と教職員が参加します。

## 大学 平成26年度クラブ・サークル活動 報告会・懇親パーティー [12/19]



学友会主催「平成26年度クラブ・サークル活動報告会・懇親パーティー」が八戸プラザホテルで開催され、クラブ・サークルに所属する学生および監督・関係者224名が参加しました。

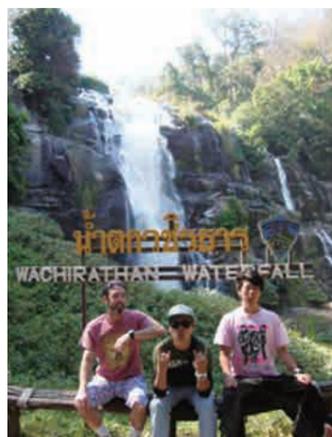
クラブ・サークル活動報告会では、活動報告・表彰・新役員の発表を行い、平成27年度も各クラブ・サークル・学友会それぞれの活動が、今年度以上に開花されることを誓いました。

引き続き行われた懇親パーティーでは、各クラブ・サークルの余興もあり大いに盛り上がりました。打ち込める何かがあるということは、堂々と自分を表現できるのだと感動し「熱い思い」はすべてに共通することを実感しました。

主催した学友会の皆さん、本当にご苦勞様でした。

## 大学 平成26年度タイ海外研修 [2/21～3/3]

八戸学院大学生2名がタイ・チェンマイでの海外研修に参加しました。一行は滞在中、寺院巡りや国立公園エコツアー、象保護園でのボランティア、山岳民族保存地区の見学、タイ料理やマッサージ等の体験を通し、タイの風土や文化に触れました。また以前大学に短期日本語研修生として滞在した元ファースタン大学生のインさん、ペーンさんらがガイド役として合流した他、ファースタン大学を訪れ日本語学科の学生と意見交換や食事を共にして交流しました。旅行会社のツアーでは体験できない独自の日程をこなした参加学生は、あっという間の9日間の研修を満喫して無事帰国しました。



## 短大 新入生宿泊研修 [4/10・11]



奥入瀬溪流ホテルにおいて、恒例となっている八戸学院短期大学新入生宿泊研修が実施されました。

1日目は外崎学長の挨拶から始まり、出会いのワークショップ、音楽科教員による学歌研修、学生会企画による主要行事や実習の紹介、サークル・同好会の紹介、八戸小唄流し踊りの紹介、学生会歓迎セレモニー等のプログラムが、2日目は交通安全講習会と学科研修が行われました。

新入生にとっては緊張から始まった宿泊研修でしたが、2日間のプログラムを無事に終えたころには心もほぐれ、新しい仲間を得るとともに、短大での学びの構えを築くという当初の目的を果たすことができました。

## 大学 第20回就職合宿 [2/26・27]



八戸シーガルビューホテルを会場とし、講師に金融機関、住宅メーカー、小売業の各採用担当者ならびに就職情報誌からキャリアカウンセラーを招き、一泊二日の日程で第20回就職合宿が開催されました。

ビジネス学部・人間健康学部の3年生を対象としたこのイベントでは、学生の就職・採用活動時期の変更に伴う留意点を確認し、エントリーシートの書き方、自己分析、特に模擬面接に時間を費やしました。普段のキャンパスとは違う雰囲気の中で、学生たちは着慣れないリクルートスーツでの研修や実践指導に困惑しながらも、来る就職戦線への準備作業を行うことができました。

8月1日からは、各企業の採用試験が開始となります。この就職合宿で学んだ多くの知識を存分に発揮して欲しいと願っています。



## 短大 「子どもフェスタ」ミニ・オペレッタ [2/22]

幼児保育学科2年生が「子どもフェスタ」に参加し、八戸市公民館小ホールでミニ・オペレッタの発表会を実施しました。保育士養成校として、“実学的専門性”を身に付ける事を願って平成14年度より実施し、5つの目標を掲げ「音楽・美術・体育」が一体となった表現活動を2年間の集大成として表現発表を行っています。

学生達は全過程において工夫を凝らし、「音楽のプロデュース、振り付け、物語の演出や照明、大道具、小道具、背景、衣装」等の手作りの演習活動を行い、毎年納得のいく上演となっています。オペレッタがようやく定着し始め、子ども達や卒業生、保護者と大勢の方がおいで下さり、皆さんに喜んで頂いた発表となりました。



## 大・短 平成26年度 人間健康学科・看護学科公開講座 [3/7]

人間健康学科・看護学科が主催する公開講座が、八戸商工会館にて行われ、延べ約70名が参加しました。本講座は生涯学習の一環として、地域の皆さまに学習機会をご提供することを目的に開催しています。

今年度は「自己の健康を見つめ、明日を豊かに生きる」をテーマに、人間健康学科・看護学科の4名の教員による講座と、学生4名による研究発表が行われました。内容は『セルフマネジメント』、『青森県の死亡率と生活習慣病予防』、『大学生のスマートフォン利用実態』、『種差海岸・階上岳の自然を活用した健康増進活動』、そして、学生による研究発表と多岐にわたる内容となりました。



**光星高 第87回選抜高等学校野球大会 [3/21・26]**



2年連続8度目の出場になった第87回選抜高等学校野球大会は、本校にとって初めての開幕試合で幕を開けました。昨年の12月に完成した室内練習場のおかげで、冬場に、しっかりと練習をすることができ、九州チャンピオンの九州学院高校に対して堂々とした試合内容で完勝することができました。続く2回戦では宿敵の大阪桐蔭高校でしたが、善戦したものの敗戦し、あらためて全国制覇の道のりの険しさを痛感させられました。

この悔しさを忘れることなく今後益々練習に励み、必ず夏の甲子園に出場し、頂点を目指したいと考えています。

この度の選抜甲子園大会出場にあたり、募金活動をしていただいた PTA の皆様や父母会の皆様、多くの方々に支えていただきました。感謝の気持ちを忘れずに日々鍛錬していきたいと思えます。ご声援ありがとうございました。

八戸学院光星高等学校 硬式野球部 監督 仲井宗基



**光星高 平成26年度 卒業記念講演会 「心をこめて～限りなき挑戦」 [2/24]**



公益財団法人 秋田県体育協会  
ゼネラル・アドバイザー 中村 和雄氏

bjリーグ秋田ノーザンハピネッツ前ヘッドコーチの中村和雄氏より「心をこめて～限りなき挑戦」の演題で、卒業記念講演をしていただきました。中村氏は、「大事なことは、常に学ぶ心を持ち、尊敬できる人に巡り会うこと。そして強い思いで夢を追い続けること。何事にも愛をもって接することである。一日一日を大切に胸をはって生きてほしい。」と、ご自分の体験を交えて、心に残る言葉をちりばめた講演をなさり、生徒たちにとって貴重な時間になりました。

**光星高 平成27年度 入学記念講演会 「地域活性と映画のかかわり」 [4/27]**



(株)エム・ケイ・ツー  
代表取締役 川阪 実由貴氏

「青森に全く縁のない私が、青森のことを全世界へ発信し感動させたいと強く思ったのは、3.11震災がきっかけでした。」この言葉から始まった川阪氏の講演は、映画のプロモーションを流し、八戸を舞台にした「ライアの祈り」制作秘話や地域の人々が参加することで地域活性と故郷へ新たな眼を向ける意味、そして復興の様子を世界に発信することの大切さを伝えました。川阪氏は、絶対作り上げるという夢をあきらめず、理解してくれる周りのスタッフや地域の方々との「絆」に助けられて出来上がった映画なので、是非鑑賞してほしいと紹介、さらには本校OBのアルパジョン社長松坂和治氏とのトークセッションでは、松坂氏から「元気を出して人を喜ばせる人間になってほしい」と生徒にエールが送られました。

**専攻科 平成26年度企業説明会 [2/26]**



本校自動車科1年生を対象に八戸学院大学会館において企業説明会が行われました。この説明会の趣旨は、学生の進路に対する意識の高揚を図るものであり、毎年この時期に実施し、学生達が就職先を選択する際に大いに参考になっています。リクルートスーツ姿の学生達は、自分達が将来就職試験にチャレンジするための情報を得ようと終始真剣な表情で取り組んでいました。今回、ご多忙中にもかかわらず賛同ご出席していただきました企業の皆様に深く感謝申し上げます。



**専攻科 平成26年度介護事例検討報告会 [3/3・4]**



介護事例検討報告会が開催され、2年生27名が介護実習での学びを報告しました。介護実習は6月と11月に各5週間、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障がい者支援施設など10施設で実施しています。実習での体験の中から、各自が



テーマを決め、介護の専門性を活かした内容でまとめ上げました。「文章が上手く書けない」「利用者さんの思いを表現できない」と悩んでいた学生も、仲間たちと協力し合いながら取り組んでいる姿に、2年間での成長を感じました。報告会では1年生も熱心に聴講し、事例検討に対する動機づけとなり、有意義な時間を過ごすことができました。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

**野西高 命の尊さと救命知識学ぶ [3/11・12]**

野辺地消防署員15名を講師に迎え、生徒90余名が上級救命講習を受講しました。

開講式で齋藤校長が、「昨年5月と11月に避難訓練を行い、自分自身を守ることを学んだ。今日は他の人を助ける勉強をすることになるが、同時に学ぶ姿勢も身につけてほしい」と挨拶、続いて野辺地消防副署長横濱芳明氏が「御校は平成8年から救命講習を行い、県内でも救命意識の高い高校と認識している。また、3月11日に講習を実施することは命に対する意識の表れであり意義深い。命の儚さと尊さの認識を持って臨んでほしい」と挨拶されました。

この後、生徒達は2会場に分かれ、AED講習や小児・乳児・成人の心肺蘇生、止血、運搬方法など救命知識を学びました。



**野西高 除雪作業と手作りお菓자에感謝 [2/7]**



「一人暮らし老人交流事業」にボランティア部が除雪隊として参加しました。玄関先に積もった雪や屋根からの落雪で固く重くなった雪で困っている方の家を訪ね、除雪作業に汗を流しました。

除雪班と別の班では蒸しパンを作り、一人暮らしの方々にプレゼントしました。手渡された方は「雪を片付けてくれたり、お菓子をくれたり本当にうれしい。大切にいただきます」と感謝のことばを生徒達に掛けていました。

**野辺地町に車いすを寄付 [2/17]**

福祉の向上にと野辺地町の社会福祉協議会に車いすを寄付しました。これは、部員が4年間かけて集めた約370kgのプルタブの売却益で購入したもので、「社会福祉に役立ててください。」と目録と車いすを手渡しました。



**イベント情報  
平成27年5月～8月**

**八戸学院光星高等学校**

▼アクティブスクール[学習編]  
7/30(木)・31(金) 9:00～12:30

アクティブスクールの詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院光星高等学校  
総務部 TEL.0178-33-4151

**八戸学院光星高等学校**

▼アクティブスクール[部活動編]  
8/22(土) 9:00～12:30

アクティブスクールの詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院光星高等学校  
総務部 TEL.0178-33-4151

**八戸学院光星高等学校専攻科**

▼オープンキャンパス  
8/29(土) 9:50～12:00

オープンキャンパスの詳細は、下記にお問い合わせください。

八戸学院光星高等学校専攻科  
TEL.0178-25-6322

**八戸学院野辺地西高等学校**

▼体験入学  
7/31(金) 9:00～12:00  
8/7(金) 9:00～12:00

体験入学の詳細は、下記にお問い合わせください。  
八戸学院野辺地西高等学校  
広報部 TEL.0175-64-4166

イベント情報  
平成27年5月～8月

八戸学院短期大学附属幼稚園

- ▼運動会  
6/14(日) 9:00～12:30
- ▼星の子祭&夕涼み会  
7/26(日) 14:00～17:00

八戸学院短期大学附属幼稚園  
聖アンナ

- ▼運動会  
6/13(土) 9:45～12:30
- ▼オープンスクール  
7/8(水) 10:00～14:00
- ▼夏の季節祭  
7/25(土) 13:30～17:30

八戸学院短期大学附属幼稚園  
第二しのもの

- ▼運動会  
6/28(日) 9:45～11:30

未就学園児教室 開催  
平成27年5月～8月

八戸学院短期大学附属幼稚園

- 【星の子キッズクラブ】10:00～11:30  
5/20(水)・30(土)  
6/3(水)・17(水)・18(木)・27(土)  
7/8(水)・9(木)

八戸学院短期大学附属幼稚園  
聖アンナ

- 【めだか学級】10:00～11:30  
6/2(火)・23(火)・7/7(水)
- 【ベビーマッサージ】10:00～11:00  
■2～6か月…5/23(土)  
■7～11か月…6/20(土)  
■11～24か月…7/11(土)

八戸学院短期大学附属幼稚園  
第二しのもの

- 【ポケット広場】10:00～12:00  
5/30(土)・6/12(金)  
7/2(木)・25(金)

平成27年4月現在  
詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。

附属 未就園児教室「星の子キッズクラブ」  
開講式 [4/25]



今年度の未就園児教室「星の子キッズクラブ」が開講しました。エントランスでお出迎えした附属幼稚園のマスコット『ステラ』と握手をしたり、「♪さんぽ」の曲に合わせて一緒に踊ったりと、子どもたちは目をキラキラ輝かせて楽しんでいました。クラブでは、ゆったりとした空間で絵本を読んだり教具で遊んだり、キッズコミュニケーションアドバイザーの資格を持つ教員と親子で触れ合いながらスキンシップを楽しんでいます。今回は、歌に合わせて体に刺激となる遊びを行い、向かい合った親子が笑顔で見つめ合いながら歓声をあげて楽しみました。今後は、音楽を通しての表現活動や親子体操、遠足など初めての社会生活、集団活動を親子で楽しく体験していきます。



聖アンナ ♪楽しかった「オカリナ」コンサート!♪  
[3/9]



日頃、市内の病院や施設などで、演奏活動をされているグループ、オカリナ倶楽部「トーニカ」の皆様をお迎えし演奏会が行われました。

オカリナ演奏が始まると興味深々に聴く姿があり、オカリナの素朴な楽器の音色に子どもたちの心がピタリと重なったようでした。



た。メロディベルやウインドチャイムなどの演奏もあり、楽器にも触らせていただきました。照れながらもうれしそうです。最後にオカリナの伴奏で子どもたちが知っている「マリアさまのころ」や、「山の音楽家」などみんなできれいな声で歌い、終始和やかな雰囲気の演奏会となりました。

第二しのもの お別れ会 [3/10]

年長組の子どもたちとお別れ会をしました。スクールバスでお世話になっている運転士さんたちも参加してくれて、とても賑やかな会となりました。

グループにわかれてみんなで妖怪体操やリズムダンスを踊りました。年長組の子どもが回してくれたビンゴゲームでは「あと1つ!」「ピンゴ!」と歓声が響き、景品をもらえて嬉しそうでした。

最後に感謝の気持ちを込めて写真たてのプレゼントを贈り、全員で仲良く給食を食べて、大好きな年長組の子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。



附属 新学期スタート! [4/9]



新園児を迎え、今年度の園生活が始まりました。新しい靴箱や新しいロッカー、新しいクラス等ひとつひとつ覚えて、少しずつ園生活に慣れてきました。登園時、玄関では笑顔で挨拶したり、「一緒に行こう」と誘い合って手をつないでクラスに行ったりと、楽しげな姿が見られています。緊張したり泣いたりしていた新入園児も、クラスでの手遊び、歌遊びやリズムに合わせたダンスなど、楽しい活動をしながらかちつきを見せ、「絵本読んでちょうだい」「一緒にパズルしよう」と意欲的になってきました。また、子どもたちと一緒に遊んだりお世話をするニューフェイスの出貝夏子先生も「笑顔で、積極的にかわって、一緒に楽しみながら共に成長していきたい」と、子どもたちに負けない笑顔で奮闘中です。子どもたちひとりひとりが、笑顔で、伸び伸びと成長していけるように、今年度も職員一同力を尽くして参ります。



第二しのもの 親子でふりかけづくり [5/1]



保育参観で、「親子でお料理会」を行いました。楽しく作り、楽しく食べることをねらいとして、簡単な「ふりかけづくり」に挑戦しました。湊高台にあるけずり節「静岡屋」金山 和歌子さんを講師に迎え、八戸のイカ、サバ、塩こんぶ、ごまの材料を使ったふりかけを紹介していただきながら作りました。子どもたちはお家の方と一緒にボールに材料を入れ、かつお節の風味と感触を味わいながら、楽しく混ぜていました。最後に秘伝のたれをかけ、よく混ぜて、出来上がりです。その後は、ラップでおにぎりを作り、ふりかけをかけて、おいしくいただきました。保護者の皆様から「市販のふりかけより、素材の味がきいていて、おいしい」と感想をいただき、大好評でした。



聖アンナ お別れ会 [3/11]



3学期最後の給食の日は恒例の「お別れ会」でした。年長さんが前に出て、クラスみんなに自分が書いたメッセージカードを読みます。そして小さい子からも年長さんへ「小学校へ行っても元気だね。」など一言ずつ話します。最後に、クラス全員で作ったプレゼントを年長さんに渡しました。小さい子たちがお別れという意味を知るのにはそれから数日後、年長さんが卒園してからのことです。卒園式後、クラスの人数が減りお部屋に残ったのは、年長さんが書いたあのメッセージカード。それを見上げながら「あの時、年長さんと約束したから、小さい子にやさしくしてあげないとね!」そのような思いを胸に、進級を待ち望む姿はとても頼もしく見えます。





同窓生の広場

INTERVIEW

# 八戸から世界へ！

## 「地産地消」から「地産地出」の挑戦

地元、洋野町は水産業が盛んな地域ですが、その古い体質に疑問を感じていました。世界に通用する水産物があるのに正当な価値をもらえていない、また、生産者の高齢化問題や後継者不足など現状を目の当たりにして、生産者に焦点を当てた魅力ある商売に変えたいと思うようになりました。当時、何かのきっかけになればと思い、八戸大学総合研究所（現八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター）主催の起業家養成講座を受講。講師の大谷真樹氏（現八戸学院大学学長）の「古い体質の業種は新しい風を入れることで大きく変わる。」と言う教えがヒントになり、地元の海産物に付加価値を付けて販売する方法が生まれました。その後、キリングループの「復興応援 キリン絆プロジェクト」の採択を受け「北三陸世界ブランドプロジェクト実行委員会」を設立し、北三陸の豊かな水産物による新たな加工商品の開発、ブランディング活動、販路拡大を行っています。地方で生産した物を地方で消費する「地産地消」から、地方で生産した物を世界へ発信する「地産地出」のビジネスモデルケースを作れればと思っています。

### 【後輩へ贈る言葉】

人間の能力に限界はありません。自分の未来を良い方向に切り開くためには、周りがなんとかしてくれる『依存型』ではなく、自分でどうにかする『自立型』になる必要があります。何事にも積極的に挑戦してください。

### プロフィール

八戸大学（現八戸学院大学）卒業。（株）青森ダイハツモーターズ、ソニー生命保険（株）に7年勤めた後、2008年4月に帰郷、2010年5月に起業。3.11大震災後『北三陸世界ブランドプロジェクト実行委員会』を設立。朝日新聞出版誌「アエラ」で日本を打ち破る100人に選出される。岩手県商工会青年部副会長。「愛称 北三陸の海男児」



下苧坪 之典氏  
Yukinori Shitautsubo

株式会社ひろの屋 代表取締役  
(岩手県 洋野町)



買いつけは自分の目で確かめて！

### 平成27年度地域連携研究センター事業一覧（4月15日現在）

#### 【地域文化研究室】

デーリー東北新聞社一日編集局長 八戸ふるさと検定  
第2回ビブリオバトル in 八戸 第8回かいごの学校  
八戸市農業ビジネスナイトセミナー 地域医療セミナー  
人間健康学部・看護学科 公開講座

#### 【地域産業振興室】

ジュニアエコノミーカレッジ 起業家養成講座  
八戸市都市研究検討会

#### 【地域スポーツ振興室】

スポーツリーダー養成講座 ジュニアサッカー教室

#### 【国際交流室】

みちのく英語応用言語学サミット

#### 【地域連携推進室】

(株)東北産業協定調印式 五戸町協定締結式 はしかみ臥牛山まつり

地域との連携強化と役割を明確にするため、昨年度改組スタートした地域連携研究センターでは、(1)地域文化研究、(2)地域産業振興、(3)地域スポーツ振興、(4)国際交流の4つの部門において各種事業を実施しました。2年目に入る今年度は、これまでの部門に加えて「地域連携推進室」を新設し、地域との関わりを更に深め、企業などと地域の課題解決や新しいソリューション創造を目指していきたいと考えております。

## 学びの時間

八戸学院大学・八戸学院短期大学  
地域連携研究センター



村本 卓  
Takashi Muramoto

八戸学院大学  
ビジネス学部教授  
地域連携研究センター  
副センター長



### ハチガク経営セミナー

平成27年3月12日、八戸プラザホテルにおいて、株式会社ニュース・ツー・ユー朝火英樹氏を講師にお招きし、「ネットPR」の重要性や活用ノウハウについて学ぶ「ハチガク経営セミナー」を開催しました。「具体的な活用事例があり、わかりやすかった」「タイミングや視点を変えて発信するのは目から鱗だった」などの感想が寄せられ、受講生にとって貴重な機会となりました。

今後も、ハチガク経営セミナーは、地域のみなさまのニーズに応え、様々な分野の講師をお招きし、生涯学習に役立てていただけるように継続して開催していきたいと考えております。



### 農業ビジネスナイトセミナー

平成27年2月5日から7日にかけて、ポータルミュージアムはっちにて農業ビジネスナイトセミナーが開催されました。

初日は八戸学院大学大谷学長と株式会社アイティコワーク岡本信也取締役が「農業×ITの課題と未来」、2日目は株式会社ナチュラルアート鈴木誠代表取締役CEOが「農業ビジネス戦略」、最終日は八戸学院大学丹羽副学長と日本ES開発協会矢萩大輔会長が「これからの農業経営～農工商+消学」連携～」をそれぞれ講演し、農業ビジネスへの理解を深めました。



### ジュニアサッカー教室

平成26年10月から平成27年2月にかけて、地域連携研究センター主催で八戸学院大学女子サッカー部が八戸フットサルアリーナにてジュニアサッカー教室を開催しました。

小学生の未経験者・初心者を対象に実施し、延べ82名が参加しました。本教室は、八戸市内のジュニアサッカーの競技力向上、競技人口の拡大、地域の活性化及び青少年の健全育成を目的として開催し、平成27年度も実施予定です。



法官新一  
Shinichi Hogan

## かわいいお客さまと 鯉のぼり[4/30]



総合実習館前にて

5月5日の子どもの日を前に八戸学院短期大学附属幼稚園年長「にじ組」30人と先生3人が「鯉のぼり」とお手製の「ステラのぬいぐるみ」をおみやげに美保野キャンパスを訪問してくれました。

総合実習館をバックに創設者中村由太郎先生の胸像の前で集合写真を撮りました。また爽やかな春の日差しの中で、元気よく園歌を歌いました。

そのあと、学食からのいいおおいにつられそうになりながら図書館に移動。併設されたチャペルで楽しいおしゃべりタイムを過ごしました。

また来てくださいね！



大学会館前にて



チャペルにて

1995.1

高校時代に海外遠征を経験し、競技に対する考え方が変わりました。



# 職員 ファイル

①



船場 亜希

学校法人光星学院  
総務部 総務人事課

光星学院高等学校(現 八戸学院光星高等学校)卒業後、富士急行スピードスケート部所属し、1999年冬季アジア大会3000メートルで金メダル獲得を始め、世界選手権、ワールドカップなどに出場。2014年より、八戸学院大学スピードスケート部監督に就任。



## 世界を舞台に!

子供の頃から近所の田んぼでスケートをするなど、スケートはとても身近な存在でした。スピードスケートを通じて学生時代に勝つことの喜び、実業団時代に勝負の厳しさなどたくさんの事を学びました。

現在、八戸学院大学スピードスケート部の監督をしていますが、自分がスピードスケートを通して学んだ事を学生に伝え、世界を舞台に戦える強い選手を育成していきたいと思っています。

2014.7

大学には2014年に「科学トレーニングラボ」が完成。また、キャンパス周辺には海や山もあり、練習環境に恵まれています。



1999.2

第四回冬季アジア大会で表彰台に上がり、「君が代」が流れた時の感動は忘れません。



# ΙΧΘΥΣ (イクトウス)



大学会館(5号館)2階



「ΙΧΘΥΣ」(イクトウス)はギリシア語でΙησους(イエス)、Χριστος(キリスト)、θεου(神の)、Υιος(息子)、Σοτερ(救い主)のという言葉(「イエス=キリストは神の御子・救い主」のそれぞれの頭文字を並べたもので、主イエス=キリストを表すモノグラム(組み合わせ文字)です。

「ΙΧΘΥΣ」(イクトウス)はギリシア語で魚を意味しており、魚はキリストの象徴とされています。平成3年、大学会館建設の際に当時の中村キヤ理事長が八戸短期大学幼児教育学科(現在の八戸学院短期大学幼児保育学科)の欠畑美奈子先生に製作を依頼しました。

キャンパスの近くに海があることから魚を連想し「ΙΧΘΥΣ」(イクトウス)のブロンズ像が誕生しました。魚を支えている手は創設者の思い、台座は地球を表しているそうです。当時、2体作成され、もう1体は一関市(岩手県)の資料館に飾られています。

## 大学会館(5号館)

